



## 総合診療と地域のつながり

京丹波町の皆さん、はじめまして！

この度、京丹波町病院に赴任いたしました、瑞慶覧聡太と申します。

私はこれまで、沖縄本島や京都府丹後地域をはじめとする各地で「総合診療医」として地域医療に携わり、先月まで沖縄県宮古島の西側に位置する人口約千人の多良間島で離島診療所医師として働いておりました。

総合診療は、特定の臓器だけを診るのではなく、健康の悩み全般を幅広く診ながら、患者さんの心身全体を捉えて生活に寄り添う診療科です。離島をはじめとする各地において、総合診療医として乳幼児から高齢者まで幅広い年代の皆さんの診療に関わり、ほぼ全ての診療科の健康問題に対応してきました。

前任地で私が何よりも大切にしてきたのは、病院の中での診察と同じくらい、地域の皆さんと「つながり」



沖縄、多良間診療所で撮影

総合診療医

瑞慶覧 聡太 医師(副院長)

国保京丹波町病院 月、金、第2土曜日の総合内科一般外来  
水曜日午後の予約外来担当

和知診療所 木曜日の総合内科一般外来担当



を持つことです。特に島での暮らしでは、村の伝統行事やイベントなどに参加するほか、時間が空けば連日、島の方々とゲートボールで汗を流しました。一打ごとに作戦を練り、笑い合い、次につなげるようにプレイをする。そんな何気ない時間を通じて培った「人と人とのつながり」こそが、健やかに暮らしていくための大きな支えになると肌で感じました。

医療は病院だけで完結するものではありません。ご家族の支えだけでなく、皆さんのご近所での助け合いや、日々の交流という地域の輪が広がることで、私たちが提供できる医療も最大限の力を発揮できます。私は皆さんの些細な体調の変化から、長らく抱えている健康の悩みまで、何でも気軽に相談できる医師でありたいと考えています。

京丹波町でも、まずは皆さんとのつながりを大切に、誠心誠意取り組んで参ります。ゲートボールのお誘いがあればいつでもお待ちしております。どうぞよろしく願いたします。